

SAJ24 競第 344-1 号

平成 24 年 1 月 11 日

加 盟 団 体 各 位  
公式用品委員会 各 位

財団法人全日本スキー連盟  
競技本部長 古川 年正

SAJ 強化指定選手選考基準の改定について（通知）

平素から、本連盟の運営にご理解並びにご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記について、ソチオリンピックでのメダル奪回に向け、今季より、別紙のとおり SAJ 強化指定選手（A 指定、B 指定、C 指定）の選考基準を改定することといたしましたので、何卒ご理解賜り、所属団体、選手、関係組織等への周知方よろしくお願い申し上げます。

今後ともメダル奪回に向け更なる努力をしてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

添付書類：強化指定選手（A 指定、B 指定、C 指定）選考基準の改定について  
～ソチオリンピック冬季大会メダル奪回プロジェクト～

以 上

平成 24 年 1 月 11 日

競技本部

財団法人全日本スキー連盟（S A J）競技本部

強化指定選手（A 指定、B 指定、C 指定）選考基準の改定について

～ ソチオリンピック冬季大会メダル奪回プロジェクト ～

## 1. 趣旨

現在、スキー・スノーボード競技では、トリノ、バンクーバーとオリンピック 2 大会連続でメダルを獲得していない。それにともない、スキー業界も衰退の一途をたどっており、スポンサーの撤退、強化費の削減など、選手・コーチをとりまく環境は厳しい。そのため、2014 年のソチオリンピックでは「絶対に」メダルを獲得しなければならない。もし獲得できなければスキー界全体に明日はない。

S A J の強化指定を受け、ナショナルチームに所属するということは、それらスキー界に関わるすべての人々の明日を背負うということである。また、東日本大震災の被災地を初めとするすべての国民に、スポーツを通して（Through Sports）夢と希望、そして生きる勇気を与えるためにも、ソチオリンピックに向けて、S A J が果たすべき役割は非常に大きい。

このことから、S A J では、ソチオリンピックでのメダル奪回に向け、強化資金を効率的に活用することを目的として、強化指定選手（A 指定、B 指定、C 指定）の選考基準を改定することとする。「選択と集中」の原則のもと、種別共通となる「世界基準」の選考基準を定めることによって、ソチオリンピックにおいて優秀な成績を収める可能性の高い選手に資金を集中し、効果的な強化活動が可能になるものとする。

## 2. 選考条件

### (1) A 指定

下記の成績評価基準をいずれも満たし、次期オリンピック冬季競技大会において、8 位入賞以上（団体種目においては 3 位以上）の成績を収める「可能性が高い」と認められる選手・種目。

前年度におけるワールドカップ、世界選手権、オリンピックにおいて、50 %以上の確率で 8 位以内（団体種目においては 3 位以内）の成績を収めていること

前年度のワールドランキング（種目別）が下記の範囲内であること

- ・ JP、NC、FSMO、FSAR、SBX においては 8 位以内
- ・ CC、AP、FSSX、SBAP においては 15 位以内

( 2 ) B 指定

下記の成績評価基準のいずれも満たし、次期オリンピック冬季競技大会において、8位入賞以上の成績を収める「可能性がある」と認められる選手。

前年度におけるワールドカップ、世界選手権、オリンピックにおいて、5%以上の確率(1回~2回/年以上)で8位以内の成績を収めていること  
前年度のワールドランキング(種目別)が下記の範囲内であること

- ・ JP、NC、FSMO、FSAR、SBX においては 15 位以内
- ・ CC、AP、FSSX、SBAP においては 30 位以内

( 3 ) C 指定

次期以降のオリンピック冬季競技大会において、優秀な成績を収める可能性があると各部が認める選手。

3 . 選考方法

上記の選考条件に基づき、競技本部が適正な分析・評価を行い、選考するものとする。ただし、SBHP については、他国の強豪選手の多くがワールドカップに出場していない実情を鑑み、別途規定を設けるものとする。

なお、選考の対象となる選手は、S A J を代表する選手としての品性を保ち、適切な行動・言動をもって、他の模範となる者であることを前提とする。